

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 鶴弥
 コード番号 5386 URL <http://www.try110.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月7日

(氏名) 鶴見 哲
 (氏名) 杉原 隆義

TEL 0569-29-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,825	—	27	—	△77	—	△76	—
20年3月期第1四半期	3,091	5.5	158	△51.5	143	△55.7	56	△69.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△9.80	—
20年3月期第1四半期	7.29	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	20,002	8,901	44.5	1,147.49
20年3月期	19,948	9,045	45.3	1,165.94

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,901百万円 20年3月期 9,045百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	6,084	—	149	—	0	—	△128	—	△16.59
通期	11,829	1.6	438	△17.4	188	△44.6	51	△72.1	6.60

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 7,767,800株	20年3月期 7,767,800株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 10,099株	20年3月期 10,099株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第1四半期 7,757,701株	20年3月期第1四半期 7,757,701株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月9日に発表しました業績予想は、第2四半期累計期間、通期とも本資料において修正しております。

2. 業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」に記載のとおり、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速、原油・穀物等原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により、総じて景気の減速傾向が一段と強まってまいりました。また、相次ぐガソリン価格や食料品価格の上昇により、個人消費マインドにも停滞感が見え始めております。

当業界におきましても、粘土瓦需要の動向を大きく左右する新設住宅着工戸数が41年振りに低水準に落ち込んだ昨年を更に下回る（5ヶ月累計前年比8.4%減（建設物価調査会 建設統計月報より））状況下、予想をはるかに上回る燃料価格の急騰が製造原価を大幅に押し上げ、同業者のF形瓦増産体制も相まって熾烈な価格競争となり、企業間競争は一層激化し、厳しい状況が続いております。

このような情勢下、当社は販売の拡充に注力してまいりましたが、新設住宅着工戸数の減少が予想以上であり、厳しい経営環境となりました。

この結果、売上高は2,825百万円、営業利益27百万円、経常損失77百万円、四半期純損失76百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、売上債権等の増加により前事業年度末に比べ54百万円増加し20,002百万円となりました。負債は、未払費用等の増加により前事業年度末に比べ197百万円増加し11,100百万円となりました。純資産は、前事業年度末と比較して143百万円減少し8,901百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.5%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績を勘案し、平成20年5月9日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成20年8月5日）別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。
- ② たな卸資産の評価方法については、等第1四半期会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、全事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
- ② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更
通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。
これにより、営業利益は15,408千円減少し、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ15,408千円増加しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,272	657,033
受取手形及び売掛金	2,047,154	1,616,307
商品	53,808	64,772
製品	2,018,609	2,308,183
原材料	32,433	31,049
仕掛品	55,333	57,185
その他	419,065	381,323
貸倒引当金	△148,412	△55,219
流動資産合計	5,188,264	5,060,636
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,013,955	2,032,855
機械及び装置（純額）	2,301,661	2,397,260
土地	9,163,376	9,163,376
建設仮勘定	23,892	41,277
その他（純額）	571,665	589,272
有形固定資産合計	14,074,551	14,224,042
無形固定資産	24,157	26,525
投資その他の資産		
投資有価証券	264,032	249,979
その他	578,101	589,427
貸倒引当金	△126,751	△202,527
投資その他の資産合計	715,383	636,879
固定資産合計	14,814,093	14,887,447
資産合計	20,002,358	19,948,083

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,737,022	1,751,631
短期借入金	5,300,000	5,300,000
1年内返済予定の長期借入金	558,000	458,000
未払法人税等	20,823	44,957
賞与引当金	49,136	192,757
その他	964,750	524,618
流動負債合計	8,629,732	8,271,964
固定負債		
長期借入金	1,820,000	1,930,000
退職給付引当金	60,511	63,214
役員退職慰労引当金	585,225	629,726
その他	5,000	8,164
固定負債合計	2,470,736	2,631,104
負債合計	11,100,469	10,903,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	3,743,747	3,897,371
自己株式	△5,703	△5,703
株主資本合計	8,849,368	9,002,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,520	42,021
評価・換算差額等合計	52,520	42,021
純資産合計	8,901,888	9,045,014
負債純資産合計	20,002,358	19,948,083

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	2,825,309
売上原価	2,311,837
売上総利益	513,472
販売費及び一般管理費	485,698
営業利益	27,773
営業外収益	
受取利息	1,465
受取配当金	4,329
保険配当金	3,788
その他	6,889
営業外収益合計	16,473
営業外費用	
支払利息	26,426
手形売却損	4,845
工場休止に伴う諸費用	90,198
営業外費用合計	121,470
経常損失(△)	△77,223
特別損失	
固定資産除売却損	6,172
貸倒引当金繰入額	3,000
訴訟関連損失	14,273
特別損失合計	23,445
税引前四半期純損失(△)	△100,669
法人税、住民税及び事業税	16,299
法人税等調整額	△40,921
法人税等合計	△24,622
四半期純損失(△)	△76,047

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△100,669
減価償却費	177,532
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17,417
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,702
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44,501
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△143,621
受取利息及び受取配当金	△5,794
支払利息	26,426
売上債権の増減額 (△は増加)	△258,111
たな卸資産の増減額 (△は増加)	307,258
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,609
割引手形の増減額 (△は減少)	△225,772
未払費用の増減額 (△は減少)	374,265
その他	144,941
小計	252,060
利息及び配当金の受取額	5,783
利息の支払額	△61,037
法人税等の支払額	△34,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△34,337
有形固定資産の売却による収入	756
無形固定資産の取得による支出	△244
貸付金の回収による収入	10,826
その他	△14,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△10,000
配当金の支払額	△61,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,364
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	53,238
現金及び現金同等物の期首残高	645,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	698,272

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（追加情報）

有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を７～12年としておりましたが、当第１四半期会計期間より５～9年に変更しております。

平成20年度法人税法改正を契機として利用状況等を見直した結果、耐用年数を変更しております。

これにより、営業利益は8,562千円減少し、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ12,015千円増加しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,091,958
II 売上原価	2,399,799
売上総利益	692,159
III 販売費及び一般管理費	533,244
営業利益	158,915
IV 営業外収益	17,123
受取利息及び配当金	4,857
その他営業外収益	12,266
V 営業外費用	32,671
支払利息	19,430
その他営業外費用	13,240
経常利益	143,367
VI 特別利益	23,405
固定資産売却益	438
貸倒引当金戻入	22,967
VII 特別損失	8,972
固定資産除売却損	6,631
訴訟関連費用	2,340
その他特別損失	0
税引前四半期純利益	157,799
法人税、住民税及び事業税	3,141
法人税等調整額	98,141
四半期純利益	56,516

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	157,799
減価償却費	233,740
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△22,967
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△1,223
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	2,888
賞与引当金の増減額(減少:△)	154,901
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△17,655
受取利息及び受取配当金	△4,857
支払利息	19,430
売上債権の増減額(増加:△)	221,987
たな卸資産の増減額(増加:△)	△364,781
仕入債務の増減額(減少:△)	△177,540
割引手形の増減額(減少:△)	379,533
その他	△89,855
小計	491,401
利息及び配当金の受取額	4,809
利息の支払額	△42,596
法人税等の支払額	△218,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,024
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△51,304
有形固定資産の売却による収入	2,135
無形固定資産の取得による支出	△826
貸付金の回収による収入	6,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,847
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△31,000
配当金の支払額	△44,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,372
IV 現金及び現金同等物の増加額(減少:△)	115,804
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,497,795
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,613,599

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目別	前年同四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	当四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	前期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
J 形 瓦	674,980	422,433	2,659,151
F 形 瓦	2,087,053	1,257,286	6,986,503
M 形 瓦	188,619	139,965	729,871
合 計	2,950,653	1,819,685	10,375,527

- (注) 1. 金額表示は平均売価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社は受注見込みによる生産方式をとっておりますので、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目別		前年同四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		当四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		前期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		販売金額	構成比 (%)	販売金額	構成比 (%)	販売金額	構成比 (%)
製 品	J 形 瓦	851,804	27.5	714,579	25.3	2,996,972	25.7
	F 形 瓦	1,799,463	58.2	1,675,447	59.3	6,932,022	59.5
	M 形 瓦	199,442	6.5	194,830	6.9	787,936	6.8
商 品	そ の 他	189,799	6.1	172,891	6.1	713,323	6.1
工 事 売 上		51,448	1.7	67,561	2.4	218,381	1.9
合 計		3,091,958	100.0	2,825,309	100.0	11,648,636	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。